

決算説明資料

2022年6月期

メディアスホールディングス株式会社

【証券コード:3154】



2022年8月26日

1. 会社概要 動画視聴
2. 2022年6月期 連結決算のポイント
3. 2022年6月期 連結決算
4. 市場環境とメディアスの戦略
5. 中期経営計画とビジョン
6. 参考資料

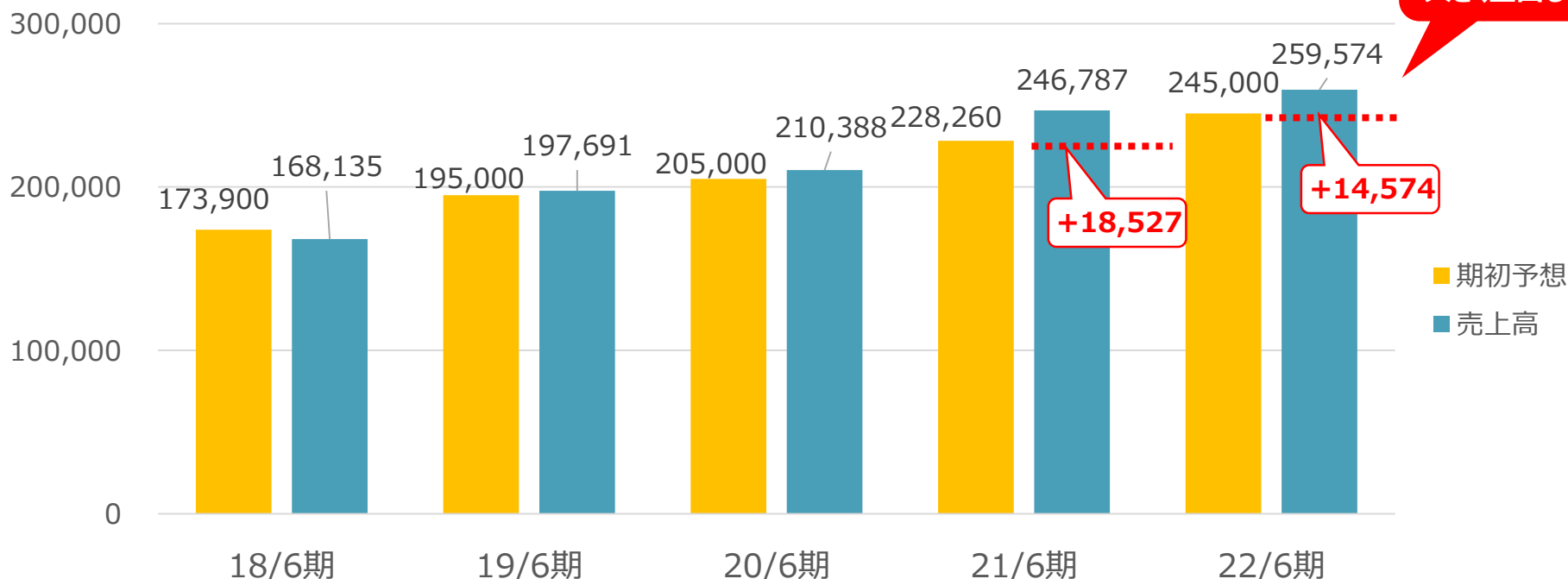
1. 会社概要 動画視聴
2. 2022年6月期 連結決算のポイント
3. 2022年6月期 連結決算
4. 市場環境とメディアスの戦略
5. 中期経営計画とビジョン
6. 参考資料

実績【売上①】

感染対策関連消耗品や設備備品は、ともに売上鈍化を想定していたが、補助金給付等の政策もあり、期初計画を上回る結果となった

売上高	2,216億円	(期初計画比	4.6%増)	※「収益認識に関する会計基準」適用後の数値
売上総利益	274億円	(期初計画比	7.1%増)	
営業利益	22億円	(期初計画比	151.9%増)	

(百万円)



※グラフの数値については、過年度の実績との比較可能性から「収益認識に関する会計基準」適用前の数値で表示しています。

実績【売上②】

《消耗品》

- 新型コロナウイルス感染症の変異株による断続的な感染拡大に伴う感染対策関連製品、検査試薬等の販売拡大が継続
- 病院の感染対策進展に伴う症例回復、拡販による症例関連製品の販売増加
※ただし、特定エリア・特定領域では症例回復が遅延傾向
- SPDや新規顧客の獲得

《備品》

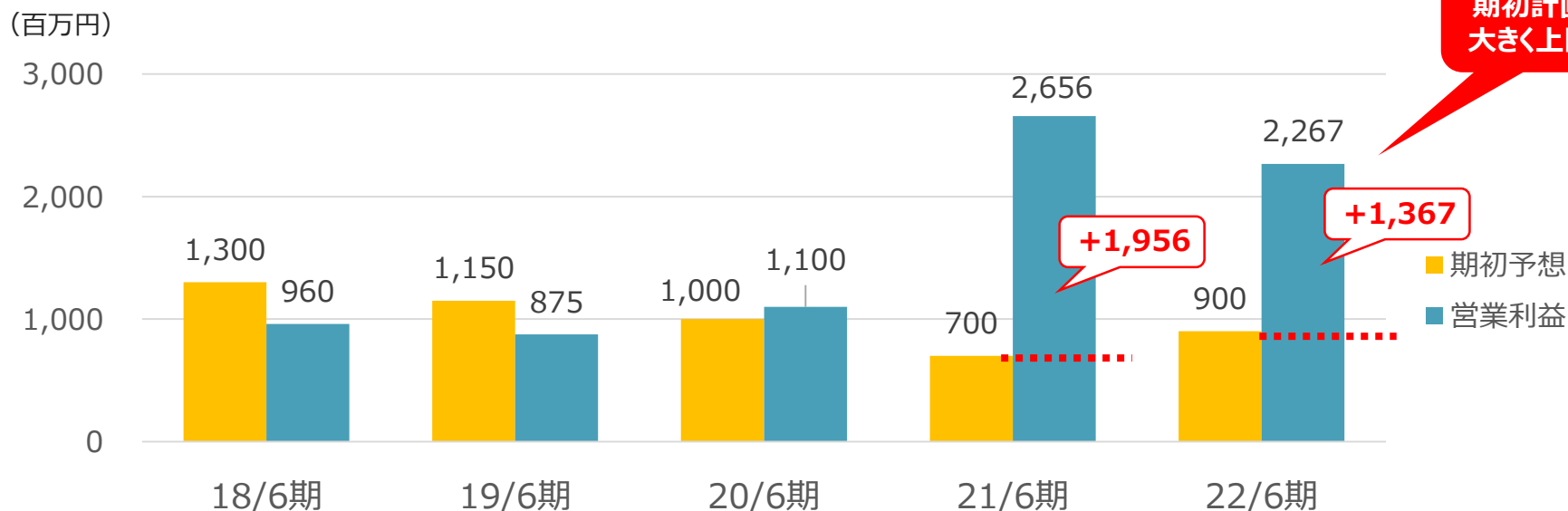
- 2021年6月期に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に係る案件の獲得
- 新築・移転案件の獲得



実績【利益】

販売管理費はSPD新規受託に伴う人件費の増加や拠点の移転・開設等により計画比増加したものの、感染対策関連の販売の好調による売上総利益の増加に伴い、営業利益が期初計画を上回る結果となった

売上高	2,216億円	(期初計画比	4.6%増)	※「収益認識に関する会計基準」適用後の数値
売上総利益	274億円	(期初計画比	7.1%増)	
営業利益	22億円	(期初計画比	151.9%増)	

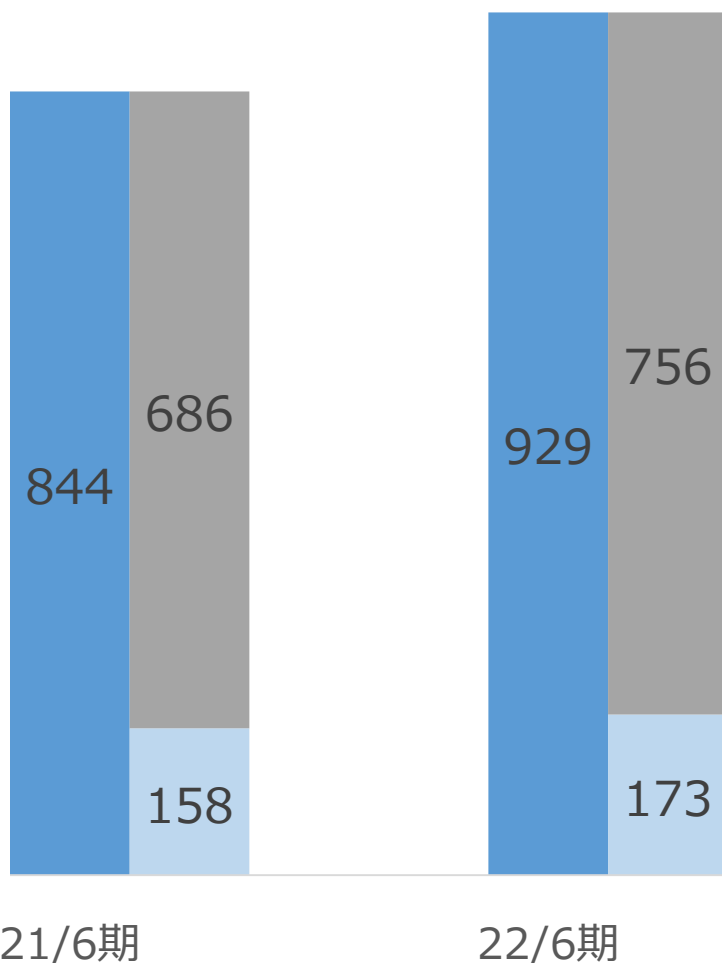


計画比利益増減要因

- 売上高の拡大に伴う売上総利益の増加、メーカーからのリベート増加による収益増加
- 期中に発生した拠点の移転・開設に伴う関連費用増加

バランスシート (B/S)

■ 総資産 ■ 純資産 ■ 負債
(単位：億円)



● 総資産

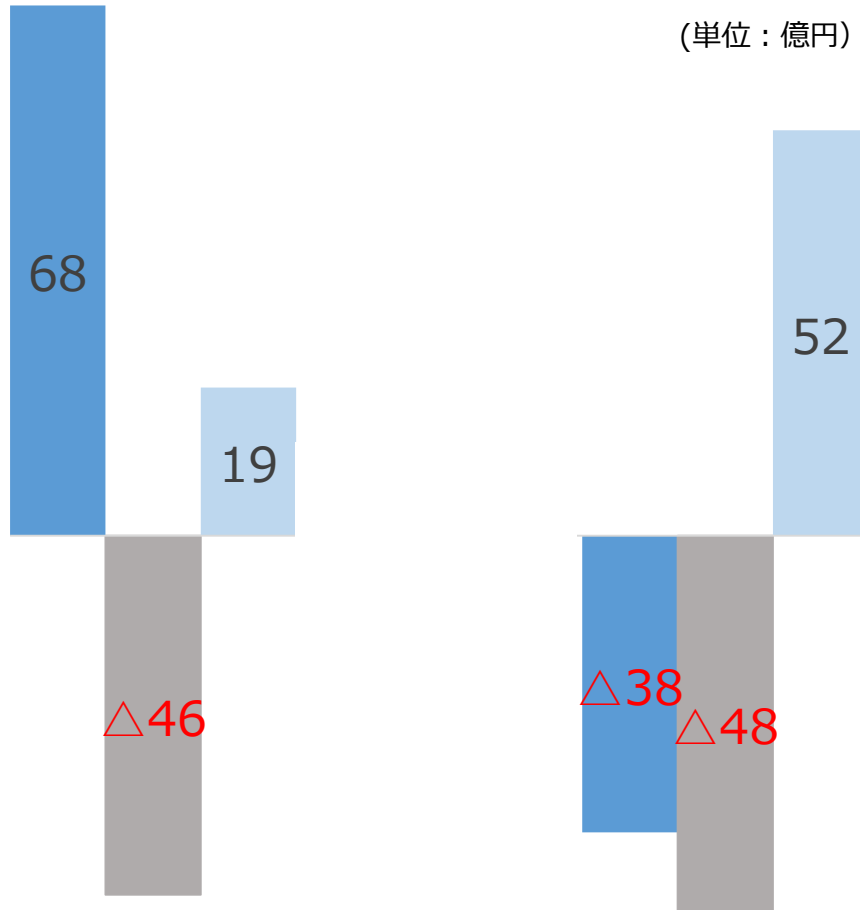
- ✓ 流動資産33億円の増加
(売上債権の増加が主な要因)
- ✓ 有形固定資産が37億円の増加
(栗原医療器械店における物流センターの建築が主な要因)
- ✓ 投資その他の資産が14億円の増加
(繰延税金資産の増加(※)が主な要因)

※栗原医療器械店は物流センターの建設に係り、サプライチェーン構築支援事業補助金（経産省）の交付決定を受けている。入金見込額は36億円であり、2022年6月期の決算において、会計上（P/L）の収益には計上をしていないものの法人税の所得計算上は同金額を益金算入している。これにより繰延税金資産（B/S）及び未払法人税等（B/S）が前期比で大きく増加することとなった。

キャッシュフロー (C/F)

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF

(単位：億円)



● 営業C/F

前期に続き業績は好調に推移したものの、仕入債務の増減（前期比△108億円）によりマイナスとなった。前期は下期に備品販売が大きく計上され、その仕入債務の支払が7月以降になったものが多かった。

● 投資C/F

前期に引き続き、栗原医療器械店における物流センターに係る設備投資支出が主要因。

● 財務C/F

設備投資資金として借入金の調達を行ったこと等による借入金の増減（前期比+33億円）の結果、前期比プラスとなった。

1. 会社概要 動画視聴
2. 2022年6月期 連結決算のポイント
- 3. 2022年6月期 連結決算**
4. 市場環境とメディアスの戦略
5. 中期経営計画とビジョン
6. 参考資料

(百万円、%)

項目		21/6期 (実績)	22/6期 (実績)		前期比	
		金額	金額	百分比	増減額	比
売上高	新基準	207,758	221,694	-	13,935	106.7
	旧基準	246,787	259,574	-	12,787	105.2
医療機器販売事業		202,195	216,384	97.6	14,189	107.0
介護・福祉事業		5,563	5,309	2.4	△253	95.4
営業利益		2,656	2,267	1.0	△389	85.4
経常利益		3,176	2,757	1.2	△419	86.8
当期純利益		2,065	1,867	0.8	△198	90.4
1株あたり当期純利益(円)		94.81	85.3	-	-	-

※新基準：当期首から適用しております「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等に準じた数値です。

※旧基準：前述の「収益認識に関する会計基準」適用前の数値で表示しています。(参考値)

当期首より「収益認識に関する会計基準」を適用

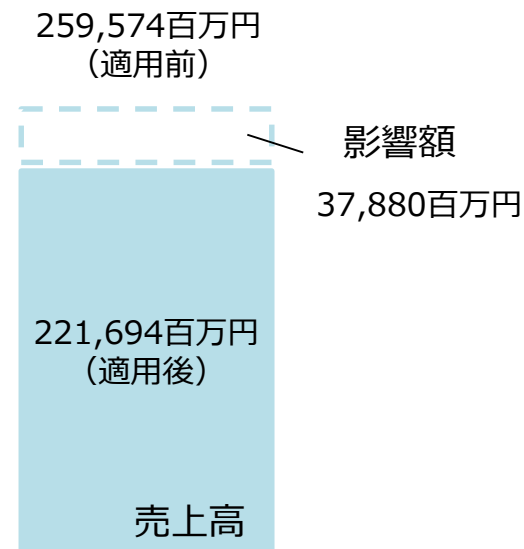
✓ 基準適用による影響

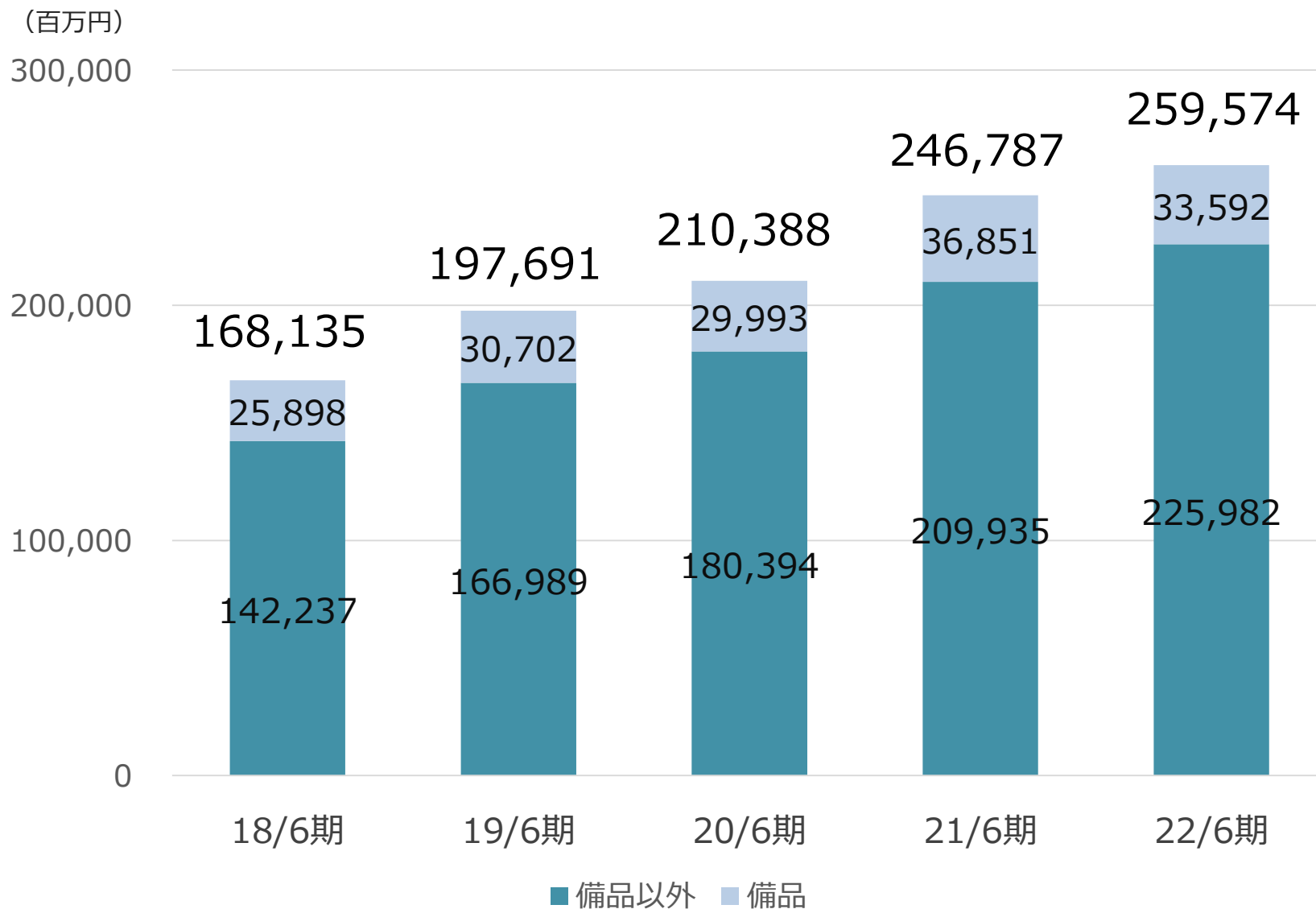
当社グループの役割が代理人に該当する取引※について、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識することにより売上高が減少。

（当期において、本基準適用により適用前より売上高が37,880百万円減少）
 なお、売上総利益、営業利益、経常利益及び当期純利益への、当該会計基準の適用による影響はなし。

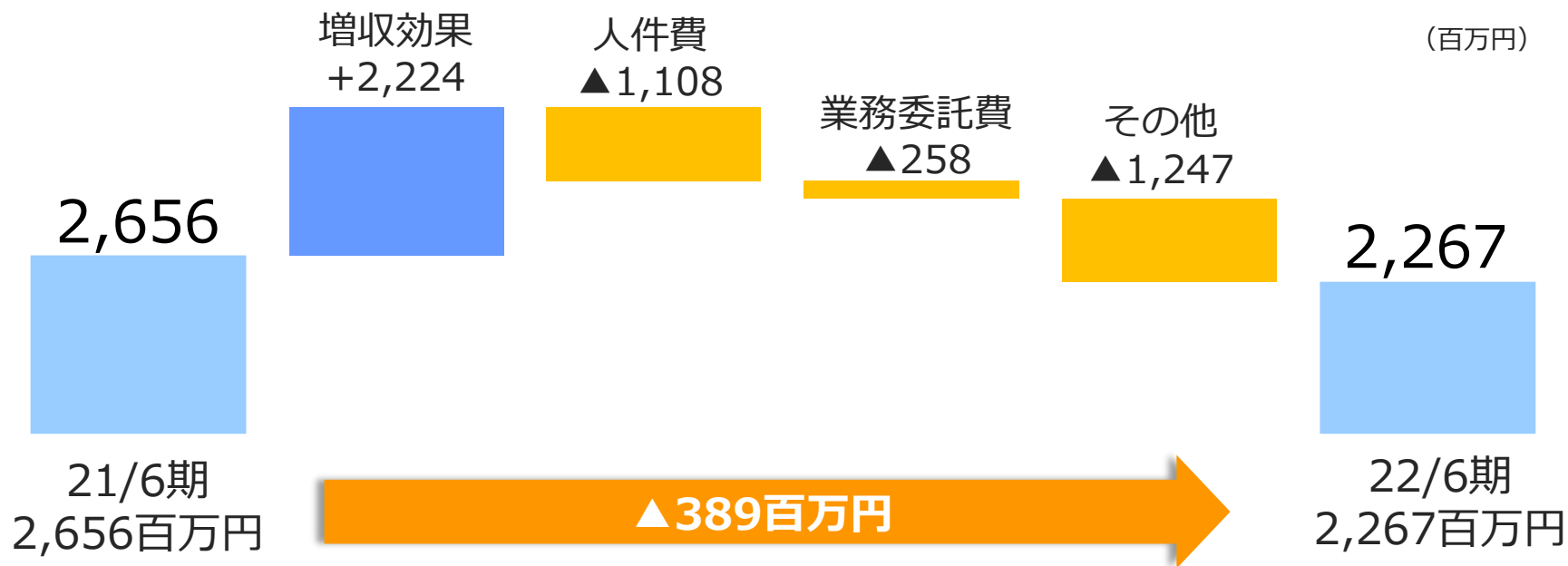
※ 代理人取引

他販売業者によって商品が顧客に提供されるように、当社グループが手配する等販売活動において主たる責任を負わない取引
 SPD受託施設における請求代行取引等が該当



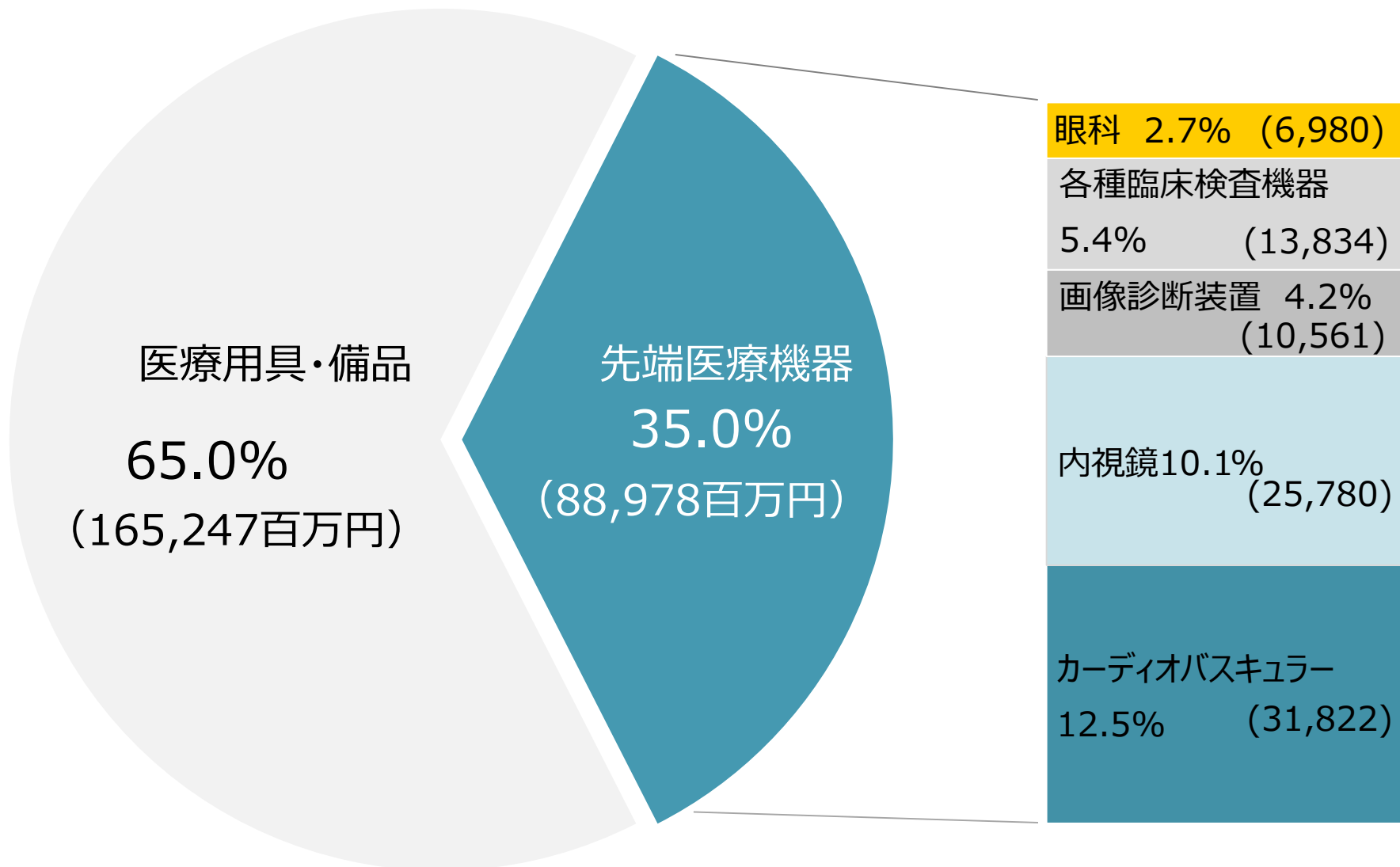


※数値については、「収益認識に関する会計基準」適用前の数値で表示しています。

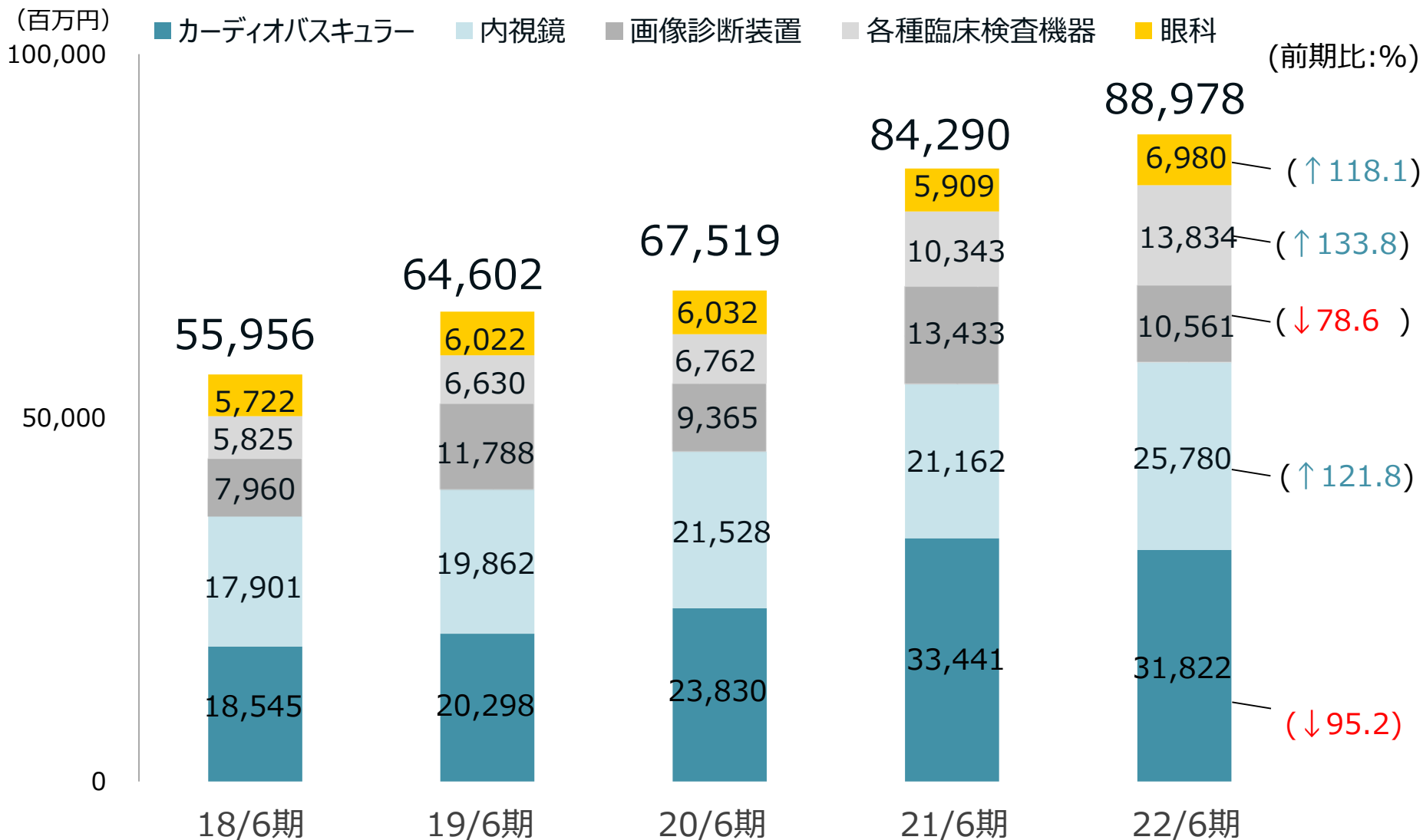


自己資本利益率推移 (ROE)

	18/6	19/6	20/6	21/6	22/6
ROE	7.3%	▲0.6%	7.2%	13.9%	11.3%



※数値については、「収益認識に関する会計基準」適用前の数値で表示しています。



※数値については、「収益認識に関する会計基準」適用前の数値で表示しています。

(百万円、%)

項目	18/6期	19/6期	20/6期	21/6期	22/6期	構成比	前期比
北海道	—	—	—	5,677	5,431	2.1	↓95.7
秋田県	3,676	3,535	3,986	4,028	4,435	1.7	↑110.1
群馬県	26,140	25,292	27,225	27,936	29,699	11.4	↑106.3
茨城県	9,205	9,988	10,060	11,043	12,497	4.8	↑113.2
埼玉県	22,943	26,445	29,117	33,021	32,230	12.4	↓97.6
東京都	22,989	24,577	28,059	36,960	37,525	14.5	↑101.5
神奈川県	17,142	19,857	24,055	29,994	33,225	12.8	↑110.8
静岡県	38,869	41,224	42,037	47,051	47,385	18.3	↑100.7
愛知県	12,489	14,966	13,554	14,399	14,836	5.7	↑103.0
福井県	—	13,752	13,989	17,232	18,190	7.0	↑105.6
京都府	—	—	—	—	2,401	0.9	—
その他	14,678	18,051	18,301	19,441	21,715	8.4	↑111.7
合計	168,135	197,691	210,388	246,787	259,574	—	↑105.2

※売上高は当社グループ拠点所在地別の都道府県です。

※19/6期にミタス及びディーセンス（現アルバース）（2018年7月1日～）、20/6期にアクティブメディカル（現アルバース）（2020年3月31日～）がグループ入り。20/6期よりメディアソリューションを連結組み入れ。22/6期に佐野器械（2021年10月1日～）がグループ入り。

※数値については、「収益認識に関する会計基準」適用前の数値で表示しています。

(百万円、%)

項目	22/6期	23/6期	
	通期 (実績)	通期 (計画)	前期比
売上高	221,694	230,000	103.7
売上総利益	27,420	28,140	102.6
営業利益	2,267	700	30.9
経常利益	2,757	1,100	39.9
当期純利益	1,867	600	32.1
売上高営業利益率	1.0	0.3	—

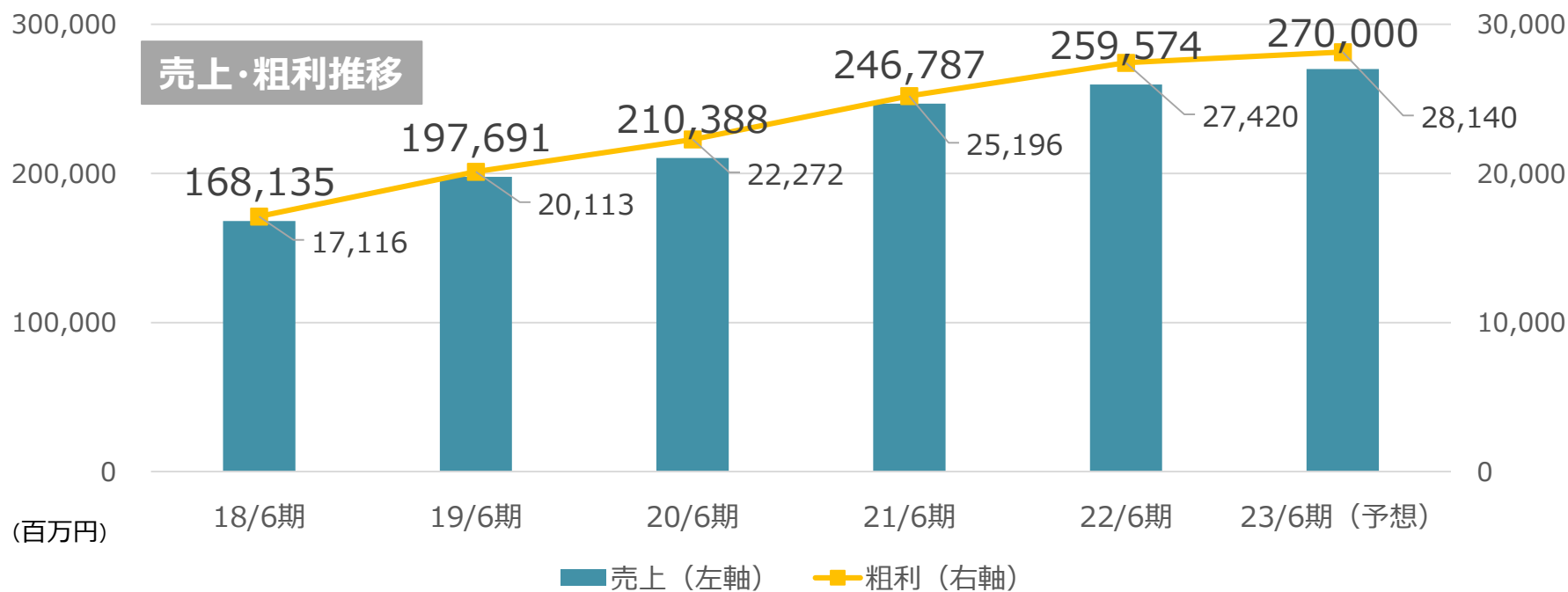
● 売上高、売上総利益

- ✓ 変異株による断続的な感染拡大が継続

※感染対策製品の需要増が継続する一方で、症例の一定程度減少が見込まれる

- ✓ 備品においては、感染対策に係る設備投資の落ち着きが見込まれる

- ✓ ソリューションの展開強化、SPDの新規受託・2022年6月期受託施設の影響による売上拡大

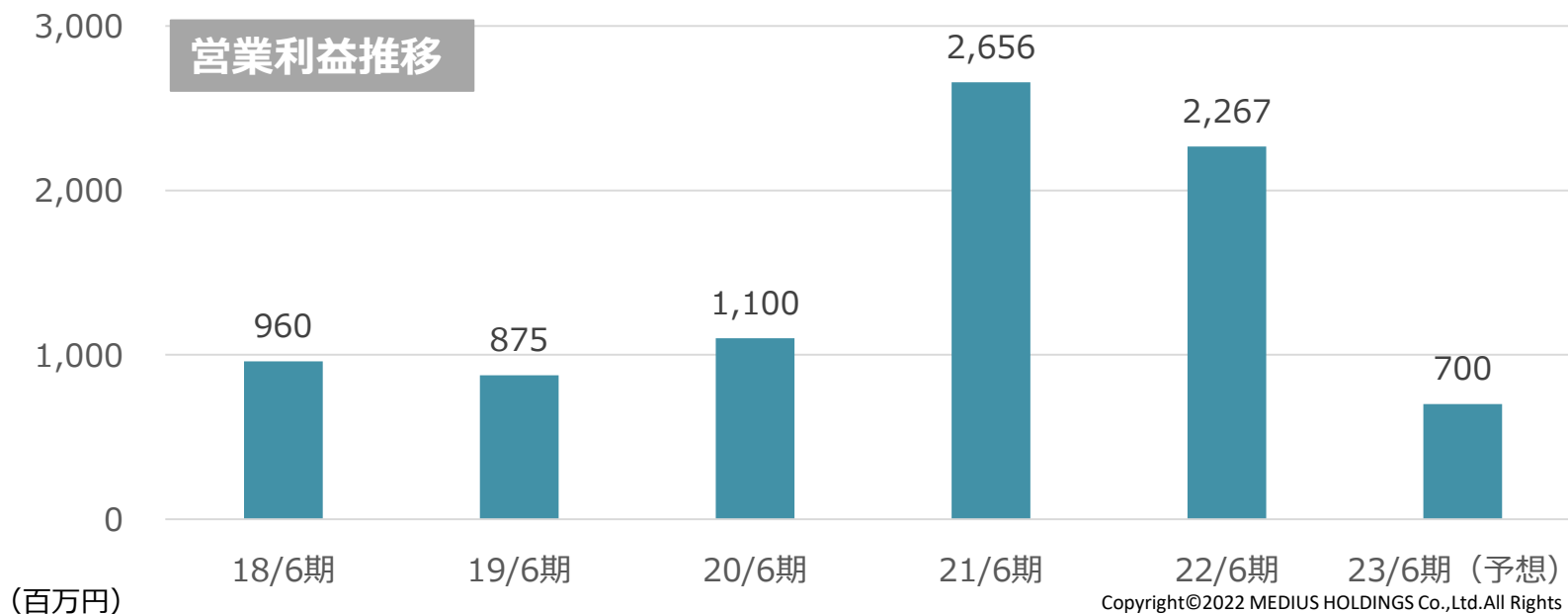


※数値については、「収益認識に関する会計基準」適用前の数値で表示しています。

● 営業利益、経常利益及び親会社に帰属する当期純利益

- ✓ 主要子会社においては事業規模拡大に伴う人材定期採用の継続や営業拠点の移転・開設を見込む
- ✓ 2022年6月期稼働した栗原医療器械店の新物流センターに関する減価償却費用や保守費用の発生

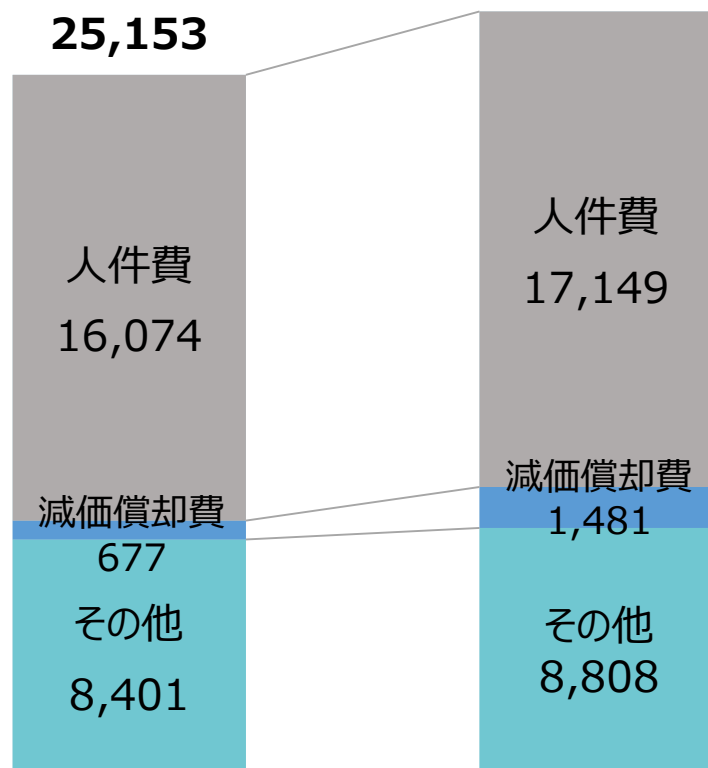
※栗原医療器械店における補助金収入36億円は物流センターの建物の償却期間内において均等に（2億円ずつ）営業外収益で計上をする見込み。



● 販売管理費

(百万円)

販売管理費計



22/6期

23/6期

● 人件費

- ✓ 事業規模拡大における人材採用
- ✓ SPD新規受託に伴う人材採用

● 減価償却費

- ✓ 栗原医療器械店の新物流センター稼働に関する償却費が年間5億円程発生する。機械装置等、定率法で償却する資産については初期に最も償却費の負担が大きくなるが、3年後には年間の償却負担が1億円程緩和される。

● その他

- ✓ システム投資関連費用、拠点の移転・開設関連費用、物流・人材に関するコンサルティング費用の発生
- ✓ 事業規模拡大に伴う物流等の外部委託費用の増加

2022年5月 太田ディストリビューションセンター稼働

成長戦略の中核である首都圏を含む関東エリアにおける更なる物流サービスの向上と機能強化を企図し、2022年5月より稼働。2030年度 売上高4000億円達成に向けて、中長期的な成長を支えるための収益基盤の確立を図る。

- ✓ 以前のセンターの2倍以上の収容能力
- ✓ 自動倉庫設備の導入による作業の効率化
- ✓ LED照明設備や太陽光発電設備の導入による環境負荷の低減への取組み

新物流センター概要

名称	: 太田ディストリビューションセンター
所在地	: 群馬県太田市東今泉町
敷地面積	: 46,079m ² (13,940坪)
延床面積	: 31,306m ² (9,500坪)



配当性向

長期に亘る経営基盤の強化と事業拡大に必要な内部留保を確立しつつ、成長に応じた成果の配分を実施する事を基本方針としております。

これまで配当性向を20～30%を基本方針とし決定してまいりましたが、株主の皆様に対する公平な利益還元の観点から、2023年6月期より**30%以上**を目標とすることいたしました。

	18/6期	19/6期	20/6期	21/6期	22/6期	23/6期 (予想)
1株あたりの配当金 (期初予想)	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0
1株あたりの配当金 (実績)	14.0	14.0	14.0	21.0	19.0	—
連結配当性向 (%)	36.7	—	32.1	22.1	22.3	51.2

※当社は2016年10月1日付をもって普通株式1株につき2株、2018年4月1日付をもって1株につき3株の割合で株式分割をしております。なお、1株あたり配当金は当該株式分割による影響を考慮しております。

23/6期予想について：

今般の改定により配当性向は上昇するものの、新物流センターに係る減価償却費、保守費用、人件費等の増加に伴う減益が見込まれる時期と重なり、一時的に配当金が下がる予想となりますが、安定配当の観点から前期の期初目標値を踏襲し、14円（51.2%）を還元させていただく計画です。

優待制度

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式をより多くの方々に保有していただくことを目的として、この度、見直しを図ることいたしました。

従 来

株式 1 単元（100株）以上保有の株主様へ

1年未満	クオカード1,000円分
1年以上3年未満	クオカード2,000円分
3年以上継続保有	クオカード3,000円分

新制度

株式 1 単元（100株）以上保有の株主様へ

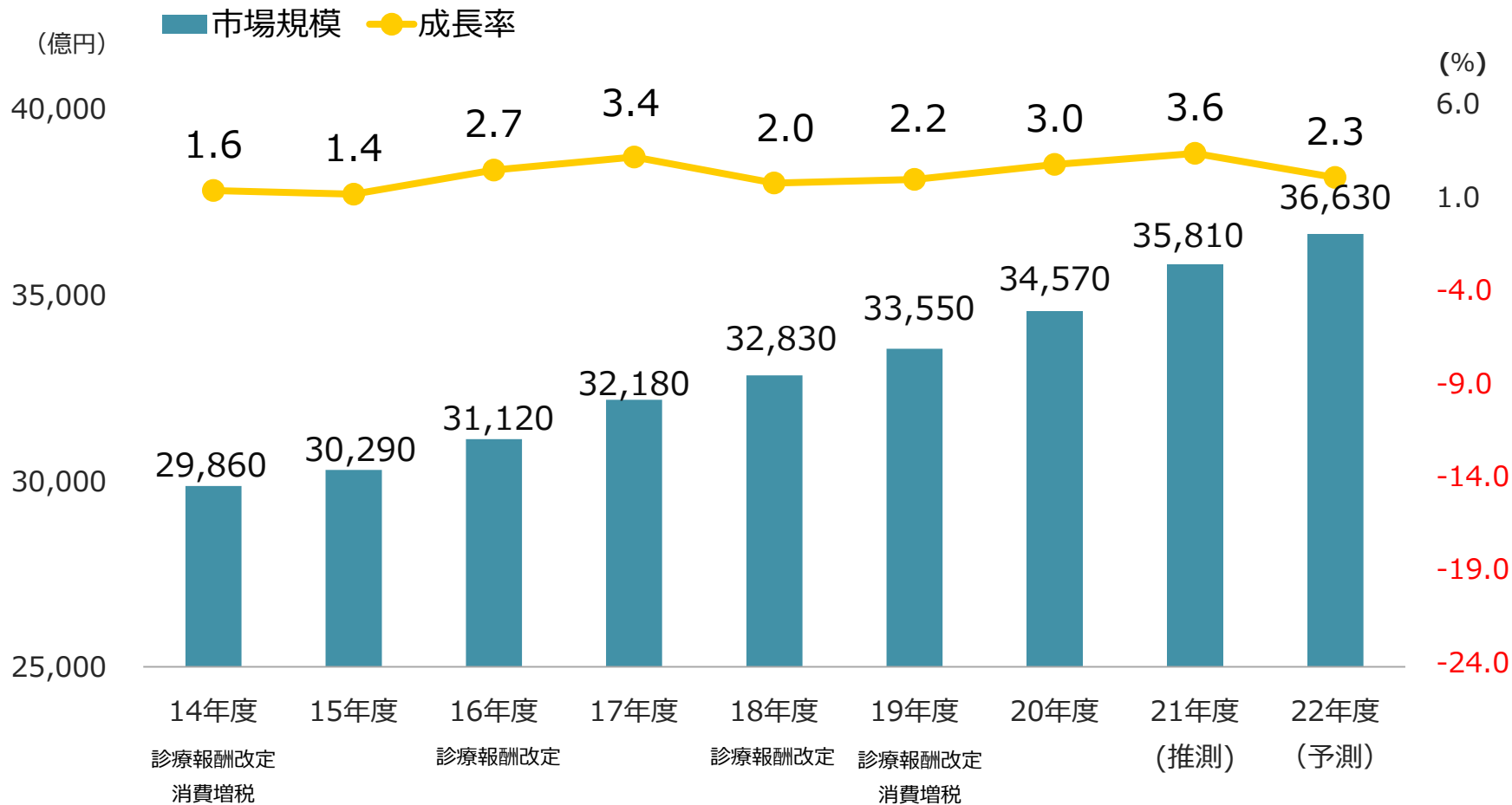
定め無し	1,000円分相当の優待商品
------	----------------

<2023年6月30日現在の株主名簿に記載された株主様より適用>

社会貢献型の優待商品、またはクオカード1,000円分からお選びいただけるよう検討してまいります。

※毎年6月末日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式 1 単元（100 株）以上を保有する株主様を対象といたします。（年 1 回）
 ※継続保有期間とは、いずれの時点においても株主名簿に記載または記録された日から基準日（6 月末日）までに同一株主番号で連続して保有した期間をいいます。

1. 会社概要 動画視聴
2. 2022年6月期 連結決算のポイント
3. 2022年6月期 連結決算
- 4. 市場環境とメディアスの戦略**
5. 中期経営計画とビジョン
6. 参考資料



※出所：(株)オールアンドデイ「医療機器・用品年鑑2022年版 市場分析編」

創業時から変わらぬ想い

地域医療への貢献

日進月歩の医療技術
 ますます先端化する医療機器
 時代の変化に伴い、日々多様化するニーズ



メディアグループの保有する

「M & A力」「ソリューション力」「効率化」

新たな価値を創造し、医療現場の課題解決に寄与

医療現場の発展や医療従事者の方々の負担軽減に貢献

各種ソリューションツールで 良質な医療環境の提供

SPD

[物流管理システム]



物流管理 分析 経営改善
収支改善

- 医療材料の管理の効率化をして、看護時間を確保したい。
- 医療材料の発注ミスを防ぎたい。

STORE

[簡易物流管理システム]



物流管理 分析

- 手間を掛けずに医療材料の管理をしたい。
- 簡易的な物流管理システムを入れたい。

meccul

[材料価格の最適化支援システム]



分析

経営改善
収支改善

- 最適な医療材料を選びたい。
- 医療材料の購買内容や変化を客観的に分析しコスト削減をしたい。

ASOURCE[®][DATABASE]

[医療材料データベース]



データ
ベース

- 網羅性・信頼性の高い商品マスタを参照したい。
- 商品情報の収集を効率的に行いたい。

SURGELANE[®]

[手術室運営支援プログラム]



手術室 運営改善
収支改善 分析 医事課

- 手術の稼働内容や収支状況の情報を把握したい。
- 効率的な手術室経営をしたい。

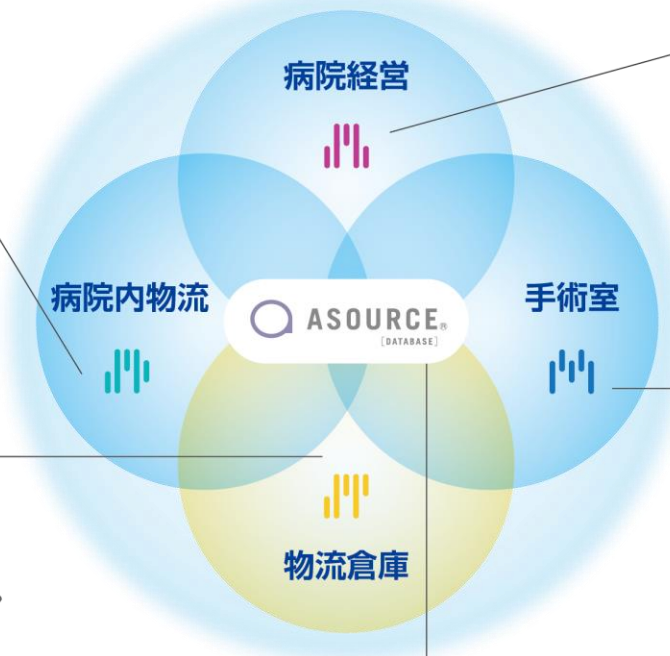
MORISS[®]

[手術情報共有システム]



手術室 情報共有 医事課

- 外科手術に関わる医療材料の管理の効率化をして、看護時間を確保したい。
- 手術スタッフで情報共有をしたい。



1. 会社概要 動画視聴
2. 2022年6月期 連結決算のポイント
3. 2022年6月期 連結決算
4. 市場環境とメディアスの戦略
5. 中期経営計画とビジョン
6. 参考資料

基盤を固める新たなスタート

中期経営計画〈2023年6月期～2025年6月期〉定量目標

項目	目標値
売上高	年成長率5%以上※
経常利益	20 億円以上
ROE	8%以上

※M&Aを除く。

メディアスグループが 今後長期的に継続して発展していくために

M&A

ESG
推進

ソリューション

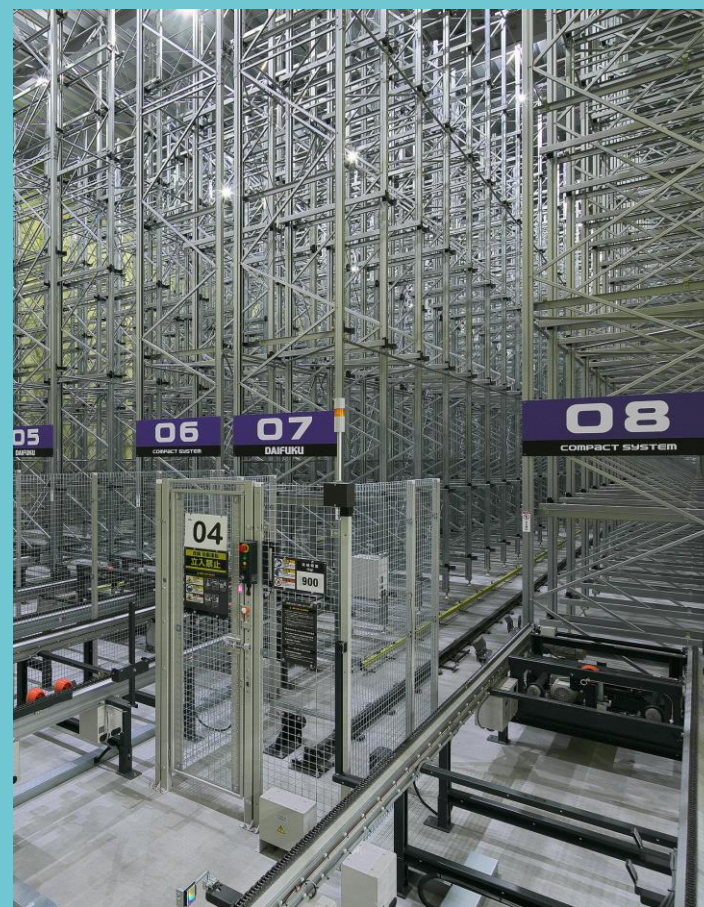
物流・システム・事務
効率化

専門分野の
グループ内再編

人と地球に優しい物流をめざして。

太田ディストリビューションセンター竣工

機関投資家・アナリストを対象とした施設見学会の開催も計画しております。



スポーツを通じた地域福祉貢献

エスパルス福祉基金

《目的と概要》



- ✓ 地元スポーツチームの活躍が地域福祉に貢献
- ✓ 清水エスパルスのホームゲームでのゴール数や観客の入場者数などに応じて基金を積み立て、シーズン終了後に地域の福祉団体や医療機関などに贈呈。昨年は静岡市の施設に福祉車両の贈呈をしました。



従業員の健康増進

健康経営の認定取得

《目的と概要》



- ✓ 社員個々の心身の健康を保ち、健康促進による会社全体の生産性向上を図る。
- ✓ 栗原医療器械店は経産省と日本健康会議による「健康経営優良法人2022（大規模法人）」に認定、協和医科器械は健康保険組合による「健康優良企業（STEP1銀）」に認定、メディアスHDも本年、同認定を取得しました。

- 栗原医療器械店

- メディアスホールディングス
- 栗原医療器械店
- 協和医科器械



地域社会への貢献

子ども用マスクの寄贈



《目的と概要》

- ✓ 新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、学校や幼稚園等で集団生活を送る子どもたちの感染対策が不足しないために。
- ✓ 群馬県邑楽郡千代田町へ10万枚、本社のある太田市近隣の幼稚園へ36万枚を寄付いたしました。



(株)栗原医療器械店 マスク10万枚寄贈



5月31日、太田市にある株式会社栗原医療器械店より、新型コロナ対策として子ども用マスク10万枚の寄贈がありました。(株)栗原医療器械店は昭和27年に設立。主に医療機器を運ぶ事業をされています。

栗原代表取締役社長は、「まん延防止のとき、子ども用マスクが入手しにくかったので、今回寄贈しました。千代田町の社員も多く、第2の地元と思っています」と話しました。

現在と未来の医療をつなぐ

2022年11月 メディメッセージ2022開催

《目的と概要》



- ✓ よりよい医療環境の創出と医療の担い手づくりを目的として2007年より参画したイベント。手術室を再現して実演する企画のほか、体験コーナーや現役医師のトークライブなどにより、地域の方々に医療の世界に楽しく触れていただく場として展開。
- ✓ 2020年からの新型コロナウイルスの感染拡大によってイベントの開催を見送ってきましたが、医師不足という課題を抱える静岡県において若い世代の人たちが医療と向き合う機会を創出したいと願い、2021年11月、万全のコロナ対策のもと、静岡県内の中学校にて出張型の「メディメッセージゼミ」を開催しました。

メディメッセージ2022

- ✓ コロナ渦を経て学んだことのひとつが、「一人ひとりが感染拡大を防ぐために行動し、地域社会全体で対応する」ということ。「静岡県を、大きな一つの医療環境に」をコンセプトに掲げ、医療技術体験の機会創出と“みんなで学べば医療環境は変わる”というメッセージを発信したい。
- ✓ オンラインを活用した新たな形の実演、トークライブの開催を検討中。

開催日時：2022年11月26日（土）、27日（日）10:00～16:30

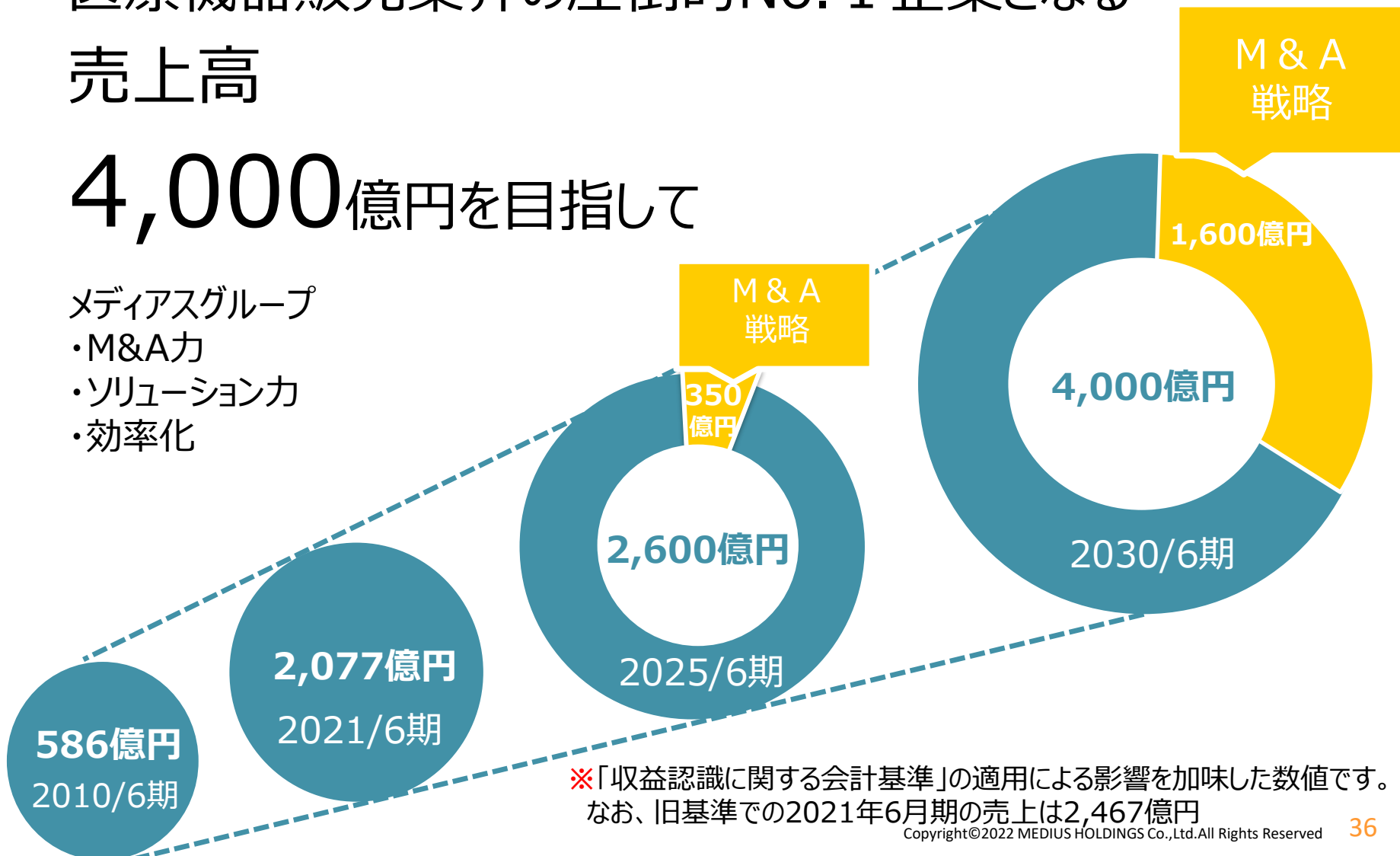
会場：キラメッセ沼津

医療機器販売業界の圧倒的No. 1 企業となる 売上高

4,000億円を目指して

メディアスグループ

- ・M&A力
- ・ソリューション力
- ・効率化



※「収益認識に関する会計基準」の適用による影響を加味した数値です。
 なお、旧基準での2021年6月期の売上は2,467億円

1. 会社概要 動画視聴
2. 2022年6月期 連結決算のポイント
3. 2022年6月期 連結決算
4. 市場環境とメディアスの戦略
5. 中期経営計画とビジョン
6. 参考資料

事業内容： 医療機器の販売及びメンテナンス事業
介護福祉機器の販売及びレンタル事業

設立

2009年7月
(2010年現社名へ商号変更)

資本金

13.4億円
(2022年6月末現在)

従業員

2,182名
(グループ計 2022年6月末現在)

決算期

6月末

代表者

代表取締役
池谷 保彦

所在地

東京都千代田区有楽町
一丁目2番2号
東宝日比谷ビル



MEDIUS

国内有数の医療環境サプライヤーとしての
揺るぎない覚悟と実績に基づく信頼
それが私たちの強みです

医療機器販売事業

- 株式会社アクティブメディカル
- 協和医科器械株式会社
- 株式会社秋田医科器械店
- 株式会社ミタス
- 株式会社栗原医療器械店
- 佐野器械株式会社
- 株式会社アルバース

グループ会社数

10

医療機器の修理・保守

- 株式会社メディカルバイオサイエンス

ソリューションサービス事業

- メディアスソリューション株式会社

介護福祉機器専門販売事業

- 石川医療器株式会社



都道府県別拠点数

北海道	6
秋田県	4
群馬県	10
栃木県	1
茨城県	3
千葉県	4
埼玉県	5
東京都	13
神奈川県	3
山梨県	1
長野県	1
新潟県	2
静岡県	12
愛知県	6
富山県	1
石川県	3
福井県	5
大阪府	1
京都府	1

2022年6月現在

情報開示

情報開示（ディスクロージャー）
担当役員 取締役 芥川 浩之
担当部署 経営企画部

I R

I R
担当役員 取締役 宮地 修平
担当部署 広報IR部

メール : ir.m@medius.co.jp

URL : <https://www.mediust.co.jp/>

本資料は当社をご理解して頂くために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たり、正確性を期するために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。